

【台湾】

9-10月の市場動向トピックス

- 2018年9月の訪日台湾人数は、前年同月比5.4%減の329,100人であった。
- 2018年10月の訪日台湾人数は、前年同月比9.9%減の379,600人であった。
- 両月とも、全体の航空座席供給量は増加したものの、9月は関西空港の閉鎖や北海道胆振東部地震、台風第24号の列島縦断により航空便の欠航が多数発生、10月は、昨年は中秋節休暇に加え4連休であった国慶節が今年は1日しかなかったこと、また台風接近の影響でクルーズに欠航が発生したことなどが相まって、訪日者数は前年同月を下回った。

9-10月の主なプロモーション活動

- 9月はYahoo! 奇摩専属のKOLによる東北、中部地方への招請事業を実施し、台湾高雄市の百貨店広場にて招請地域の観光魅力を発信するイベントを開催した。東北地方ではツール・ド・東北を、中部ではキャンプを特集し、台湾でトレンドのサイクリング、キャンプといった体験型コンテンツによる日本の地方での楽しみ方を発信した。イベントの映像は後日デジタルジャパン台湾公式ウェブサイトに格納し、不特定多数のウェブサイト訪問者も視聴が可能である。



台湾高雄市漢神百貨店屋外広場でのイベント開催

- 10月は台湾からの訪日教育旅行の一層の拡大を図ることを目的とし、台湾の教育関係者と日本の自治体や教育旅行関係者との交流会を実施した。当日は台湾側80名、日本側111名が参加し、「交流プログラム」をテーマに活発な意見交換及びネットワーキングが行われた。交流会後、日本国内の各地方11コースに分かれて地方視察を行った。



日台教育旅行交流会の開催